



【鷺別中学校区が目指す15歳の子ども像】
『受け入れ合い 支え合い 高め合う生徒』
～互いの考えや意見を尊重した発言・行動を目指して～
【鷺別中学校が育成を目指す資質・能力】
「表明力」「挑戦心」「協働性」

登別市立鷺別中学校 学校便り

令和7年2月21日発行 第12号 (学校評価掲載)

令和6年度「学校評価」結果等のお知らせ ～「よりよい鷺中を創る」ために～

昨年12月に実施しました今年度の学校評価（生徒自己評価・保護者アンケート）では、御多用中にも関わらず、御協力いただきありがとうございました。おかげさまで、92.2%という高い回収率で保護者の皆様に回答いただき、信用性の高い評価結果を得ることができました。その集計結果と分析・考察等についてまとめましたので、お知らせいたします。

1 小中共同実践項目について【回答率：92.2%】（生徒自己評価と保護者アンケート、教職員評価から）

(1) 集計結果 A:4点(あてはまる) B:3点(どちらかといえば、あてはまる) C:2点(どちらかといえば、あてはまる) D:1点(あてはまらない) **中央値 2.5**

A B C D 得点:A=4, B=3, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度
保護者12 生徒 6	【保護者・教職員】 学校は、子供が意見を伝えることを大切に して、教育活動を進めている。 【生徒】 私は、自分の考えや意見を他者に伝える (発表・発言等)ことができている。	保護者	27.0 56.2 13.3 3.5	3.1
		教職員	52.4 47.6 0	3.5
		生徒	30.3 33.8 28.5 7.5	2.9
保護者13 生徒 7	【保護者・教職員】 学校は、難しいことでも失敗を恐れずに 挑戦できる教育活動を進めている。 【生徒】 私は、難しいことでも失敗を恐れずに挑 戦することができている。	保護者	23.0 57.1 17.7 2.2	3.0
		教職員	42.9 57.1 0	3.4
		生徒	29.8 36.4 26.8 7.0	2.9
保護者14 生徒 8	【保護者・教職員】 学校は、自分と違う意見を大切に、考 えることの楽しさが実感できる教育活動 を進めている。 【生徒】 私は、自分の意見を大切に、考える ことの楽しさを実感することができ ている。	保護者	24.3 57.5 14.2 4.0	3.0
		教職員	52.4 47.6 0	3.5
		生徒	33.8 38.6 23.2 4.4	3.0

(2) 分析・考察等

※上記3項目、生徒自己評価、保護者アンケート、教職員評価の同一質問内容の三者比較項目から

△3つの小中実践項目において、保護者と教職員は肯定的な評価が8割と高く得ることができていますが、生徒の評価はややそれよりも低い傾向にあります。

△「自分の考えを他者に伝える（発表・発言等）こと」については、生徒は「自分の意見を大切にし、相手の意見を聞くことに楽しさを実感していること」はできていると回答している一方で、現状に不十分さを感じている傾向があります。このことから、生徒は意見を伝える場や機会が不足している、または、意見を伝えることに対して不安や抵抗を感じている可能性が考えられます。

●委員会活動や授業において、生徒が自信を持って自分の考えを表現できるよう、これまで以上に意図的に意見を積極的に表現し主体的に動ける場面を設定します。生徒が安心して発言できる雰囲気づくりや、互いの意見を尊重し合う態度の育成に努めます。

△「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦することができる」と感じている生徒の割合が、保護者・教職員の評価より低い傾向にあります。この背景には、家庭における学習支援や、学校における挑戦を促す指導体制、あるいは、生徒自身の自己肯定感の低さなどが影響している可能性が考えられます。

●生徒が安心して挑戦できるよう、段階的な目標設定やスモールステップによる成功体験の積み重ね、失敗を肯定的に捉え、そこから学ぶことを促す指導などを通じて、生徒が自信を持って強みや良さを発揮していけるよう支援していきます。

2 経営の重点について【回答率：92.2%】

重点1「生徒の成長が実感できる資質・能力の向上」確かな学力・豊かな心・健やかな体

(1) 集計結果 A:4点(あてはまる) B:3点(どちらかといえば、あてはまる) C:2点(どちらかといえば、あてはまる) D:1点(あてはまらない)

(生徒自己評価と保護者アンケートから)

中央値 2.5

A ■ B ■ C ■ D ■ 得点:A=4, B=3, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度
保護者1 生徒 1	【保護者】 子供は、学力の向上を目指し、目標をもって学習することができる。 【生徒】 私は、学力の向上を目指し、目標をもって学習することができる。	保護者	25.7 42.5 23.5 8.4	2.9
		生徒	25 49.6 20.6 4.8	2.9
保護者3 生徒 2	【保護者】 子供は、自分のよさを自覚し、思いやりの心を大切に生活することができる。 【生徒】 私は、自分のよさを自覚し、思いやりの心を大切に生活することができる。	保護者	38.9 54.4 5.8 0.9	3.3
		生徒	36.0 49.1 11.0 3.9	3.2
保護者5 生徒 3	【保護者】 子供は、命を大切にし、安全で健康的に生活することができる。 【生徒】 私は、命を大切にし、安全で健康的に生活することができる。	保護者	62.4 34.5 2.2 0.9	3.6
		生徒	69.7 23.7 6.6 0.0	3.6

(保護者のアンケートから)

中央値 2.5

A ■ B ■ C ■ D ■ 得点:A=4, B=3, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度
保護者7 生徒 4	【保護者】 子供は、生活リズムを整えた家庭での生活習慣が身に付いている。 【生徒】 私は、生活リズムを整えた家庭での生活習慣が身に付いている。	保護者	25.7 46.0 19.9 8.4	2.9
		生徒	30.3 37.3 26.3 6.1	2.9
保護者8 生徒 5	【保護者】 子供は、自主的に取り組む家庭学習の習慣が身に付いている。 【生徒】 私は、自主的に取り組む家庭での家庭学習が身に付いている。	保護者	24.3 39.8 23.0 12.8	2.8
		生徒	21.1 42.1 27.6 9.2	2.8

(2) 分析・考察等

※生徒自己評価、保護者アンケートの同一質問内容の二者比較項目から

○安全と健康面において、保護者・生徒ともに高い評価が見られます。今後も生徒が安心して安全・健康な学校生活を送れるよう、環境づくりや心身の健康に関する教育に力を入れた取組を充実させていきます。

△学力の向上に向けた学習において、保護者・生徒ともに肯定的な評価が7割を超えているものの、生徒の自己評価と保護者からの評価は、やや低い傾向にあります。このことから、生徒は自身の学力向上に自信を持っていない、保護者は子どもの学力や学習習慣に期待と不安を抱いている状況がうかがえます。

●学校と保護者が連携を強化し、具体的な目標設定や学習意欲を高めるための動機づけなどを通して、家庭学習の支援、学習方法に関する情報提供等、生徒の主体的な学びを促す支援を進め、一人一人の学力向上のサポートに努めます。

△「自分のよさを自覚する」自己肯定感に係る評価は、生徒の自己評価の方がやや低い傾向にあります。このことから、生徒が自身の良さや強みを十分に自覚できていない可能性が考えられます。

●生徒一人一人が個性や能力を活かせるよう、授業や委員会活動等で自分の良さや強みを伸ばしていける取組を充実させ、自己肯定感を育むとともに、主体的な行動を促すことに努めます。

※保護者アンケート回答内容から

○いじめ・不登校などの問題や安全・健康に配慮した教育環境づくりについては、肯定的な評価を高くいただきました。今後も、相談しやすい環境づくりや安全管理を徹底し、生徒が安心して生活していける学校づくりに努めます。

重点2「生徒の学びや成長を支える家庭・地域との連携・協働」

(1) 集計結果 A:4点(あてはまる) B:3点(どちらかといえば、あてはまる) C:2点(どちらかといえば、あてはまる) D:1点(あてはまらない)

(生徒自己評価と保護者アンケートから)

中央値 2.5

A ■ B ■ C ■ D ■ 得点:A=4, B=3, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		今年度の評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度
保護者1	【保護者】 学校は、わかりやすい授業づくりや適切な評価に努めている。	保護者		3.1
保護者3	【保護者】 学校は、いじめや不登校などの問題に対して、適切な対応に努めている。	保護者		3.1
保護者5	【保護者】 学校は、校内外の整備など安全・健康に配慮した教育環境づくりに努めている。	保護者		3.1

(保護者のアンケートから)

中央値 2.5

A ■ B ■ C ■ D ■ 得点:A=4, B=3, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度
保護者7	【保護者】 学校は、家庭と連携した生活・学習習慣の確立に努めている。	保護者		2.9
保護者8	【保護者】 学校は、地域と連携・協働した教育活動の充実に努めている。	保護者		3.1
保護者8	【保護者】 学校は、小学校との連携を図った小中一貫教育の推進に努めている。	保護者		3.0

(2) 分析・考察等

※生徒自己評価、保護者アンケートの同一質問内容の二者比較項目から

△生活習慣・学習習慣ともに肯定的な評価は7割弱となっていることから、習慣の確立が課題であることが数値からも見えてきます。

- スマートフォンやゲームなど、生活習慣に影響を与える要因について、生徒自身が考え、改善策を見つけられるような働きかけを学校と家庭が連携して進めていけるよう努めていきます。
- 家庭学習の習慣化を促すためにも、今年度から取組をスタートした AI ドリルの活用や目標設定を基にした学習計画づくりの徹底等、自主学習のサポート体制を充実させるように努めます。

※保護者アンケート回答内容から

○小中連携として、小中間が共通した実践項目に基づいて行う教育活動や体験入学の充実等進めています。中学生が小学生の質問に答える場の設定など新たな取組を行い、小学校からも肯定的な感想をいただきました。今後も中学校生活へのスムーズな移行が図れるよう連携事業の強化に努めていきます。

△地域と連携した教育活動について、校区内の取組に係る情報発信を充実させていく必要が見られます。

- 連絡手段の多様化、情報共有の充実など、より密な連携体制の構築に取り組みながら、地域が学校の活動に触れることができる行事やふれあいDAY等を充実させ、学校教育の理解を深めていただけるように努めていきます。

3 保護者「記述項目」について

(1) 主な記述内容

今年度も、学習指導や生徒指導をはじめ、多岐にわたる意見や要望、感想等をいただきました。全文は掲載いたしません、主な内容については次のとおりです。

<教職員について>

- 生徒の話の傾聴（意見）※同内容2件
- 教師と生徒の適切な距離感の保持（意見）
- 教師の業務量の削減と生徒との交流時間の確保（意見）
- 個性尊重と生徒への寄り添い（意見）
- 若い先生への期待（要望）

<ICT等の推進について>

- 授業や学校生活のネット配信（要望）

<学習面に関して>

- 学力テストの平均点・点数分布図の公開（要望）
- 漢検・英検・数検の受験指導（要望）
- 放課後学習の実施（要望）
- 定期テスト前の部活動休止期間の延長（要望）
- 生徒の持ち物の削減（意見）

<生活面について>

- いじめの公表と解決（意見）
- スマートフォン利用に関する指導の充実（要望）
- 生徒との向き合い機会の増加（意見）
- 規則正しい生活習慣と学習習慣の指導（要望）※同内容1件
- 匿名での相談窓口（学習面・生活面）の設置（意見）

<学校運営・学級経営に関して>

- やり取りノートの継続（要望）
- やり取りノートの運用方法の見直し（意見）
- 学級通信の継続（要望）
- 教師と生徒の相互理解と承認（要望）
- 若い先生への支援（意見）
- 学校からのお知らせの分かりやすさの向上（要望）
- 家庭・地域・学校の連携強化（意見）

<行事等について>

- 地域住民参加型行事の増加（意見）
- 合唱コンクールの継続（要望）

<学校施設等や教育環境について>

- エアコンの設置（要望）※同内容多数
- 校舎の新築・改修（要望）※同内容多数
- 校舎老朽化に伴う冬の寒さ対策（要望）※同内容多数
- 教室内の安全【LED化等】（要望）※同内容2件

<アンケートについて>

- アンケート選択肢への「わからない」「どちらでもない」の追加（要望）※同内容3件
- 無記名式アンケートの実施（要望）

<その他>

- 意見の改善への反映（要望）
- 学校の取り組み内容の情報発信の充実（要望）
- 部活動指導者の専門性の向上（要望）

(2) 分析・考察等

現在、職員会議等を通して、これらの意見や要望に対し、多面的に検討を重ねています。次年度においても、懇談会等において保護者から意見を伺ったり、生徒会活動の中で生徒自身の意見を聞いたりしながら、取組や改善の方向性を検討していきます。意見・要望の記述内容で多かったのは、施設の老朽化対策とより質の高い教育活動を求める声でした。特に施設の老朽化対策については、エアコン設置や校舎の改修、教室内の安全確保など、学習環境の改善を求める要望が目立ちます。これは、子どもたちが快適かつ安全な環境で学習できることを切望する保護者の願いの表れと言えます。これらの課題の解決には、学校だけでなく、家庭や地域社会との連携が不可欠です。学校運営協議会でも継続的に協議・検討いただいておりますが、今後も教育委員会への要望事項として提起するなど、少しでも生徒にとって過ごしやすい学習環境の実現に向け努めていきます。

また、教職員に対しては、生徒との交流時間の確保や若い先生への支援、意見交換の継続など、より質の高い教育と良好なコミュニケーションを求める意見が多く見られました。生徒一人一人の個性を尊重し、寄り添った教育を期待する保護者の気持ちが伝わります。その他、ICT活用や学習面、生活面、学校運営など、多岐にわたる意見・要望もいただきました。学校に対する期待といただいた意見を真摯に受け止め、教職員で共有しながら改善に努めていきます。今後は、これらの御意見を踏まえ、具体的な改善策を検討していくとともに、今後の励みとなる心温まるお言葉や、保護者・地域の皆様との継続的な意見交換を大切に、相互理解を深めながら、鷺別中学校ならではの特色ある教育活動を推進してまいります。